



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月8日

上場会社名 株式会社 ヤマダコーポレーション
 コード番号 6392 URL <http://www.yamadacorp.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 山田 昌太郎
 (氏名) 村瀬 博樹

TEL 03-3777-5101

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	5,959	△1.4	578	13.8	512	8.6	378	28.3
24年3月期第3四半期	6,047	6.3	507	11.7	471	11.4	294	38.3

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 361百万円 (41.5%) 24年3月期第3四半期 255百万円 (74.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	31.65	—
24年3月期第3四半期	24.66	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		
25年3月期第3四半期	8,454		4,616		51.9	
24年3月期	9,776		5,106		41.2	

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 4,384百万円 24年3月期 4,028百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
25年3月期	—	0.00	—		
25年3月期(予想)				5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,200	△1.4	690	△13.6	640	△8.7	480	△4.9	40.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1社 (社名) ヤマダ上海ポンプ貿易有限公司 、 除外 2社 (社名) 株式会社ワイ・テイ・エス
株式会社ワイ・テイ・エス販売

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期3Q	12,000,000 株	24年3月期	12,000,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

25年3月期3Q	40,343 株	24年3月期	38,294 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期3Q	11,960,939 株	24年3月期3Q	11,961,706 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(6) セグメント情報等	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米国において景気回復の兆しもあり底がたさが見られるものの、欧州では債務危機の長期化により引き続き停滞し、中国その他新興国の成長も鈍化しており、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。また、わが国経済は、東日本大震災の復興需要等によるおだやかな回復が続き、長期化していた円高の修正がなだらかに進むなど、明るい兆しも見えてまいりました。

このような状況のもとで、当社グループ（当社及び連結子会社）は、需要の下振れ感が懸念されましたが、自動車関連産業への製商品供給が安定的に確保でき、また欧州や中国などが低調な反面、北南米向け輸出が堅調に推移いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の連結売上高は5,959百万円（前年同期比△87百万円、1.4%減）となりました。売上高を部門別にみますと、オートモティブ部門は1,660百万円（前年同期比41百万円、2.6%増）、主力製品のダイヤフラムポンプが属するインダストリアル部門は、3,508百万円（前年同期比△156百万円、4.3%減）となり、上記部門に属さないサービス部品や修理売上などのその他の部門の売上高は791百万円（前年同期比27百万円、3.5%増）となりました。

利益面では、売上総利益は2,334百万円（前年同期比5百万円、0.2%増）となり、販売費及び一般管理費は減少したことにより、営業利益は578百万円（前年同期比70百万円、13.8%増）、経常利益は512百万円（前年同期比40百万円、8.6%増）、四半期純利益は378百万円（前年同期比83百万円、28.3%増）となりました。

当第3四半期連結累計期間における報告セグメントの業績は次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間において、ヤマダ上海ポンプ貿易有限公司を、新たに連結の範囲に含めております。これにより、報告セグメントは、「中国」を加え4セグメントに変更しております。

日本における外部顧客に対する売上高は3,760百万円（前年同期比△435百万円、10.4%減）、営業利益は277百万円（前年同期比△181百万円、39.5%減）となりました。米国における外部顧客に対する売上高は1,486百万円（前年同期比260百万円、21.2%増）、営業利益は294百万円（前年同期比181百万円、159.8%増）となりました。オランダにおける外部顧客に対する売上高は524百万円（前年同期比△101百万円、16.3%減）、営業利益は75百万円（前年同期比△2百万円、2.6%減）となりました。中国における外部顧客に対する売上高は189百万円、営業損失は2百万円となりました。

また、当第3四半期連結累計期間の連結売上高に占める海外売上高は2,632百万円（前年同期比158百万円、6.4%増）で、その割合は44.2%となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債、純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は8,454百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,321百万円の減少となりました。これは主に、株式会社ワイ・テイ・エス及び株式会社ワイ・テイ・エス販売を連結の範囲から除外したことによる流動資産の減少（△491百万円）、固定資産の減少（△807百万円）等によるものであります。

負債合計は3,837百万円となり、前連結会計年度末に比べ832百万円の減少となりました。これは主に、流動負債の減少（△628百万円）、固定負債の減少（△204百万円）等によるものであります。

純資産合計は4,616百万円となり、前連結会計年度末に比べ489百万円の減少となりました。これは主に、利益剰余金の増加（307百万円）、少数株主持分の減少（△845百万円）等によるものであります。

この結果、自己資本比率は51.9%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は2,080百万円となり、前連結会計年度末に比べ93百万円の増加となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは494百万円の純収入（前年同四半期は549百万円の純収入）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益429百万円、減価償却費205百万円、売上債権の減少347百万円等の収入要因があったものの、たな卸資産の増加185百万円等の支出要因があったことによるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは42百万円の純支出（前年同四半期は124百万円の純支出）となりました。これは主に、投資有価証券の売却により57百万円、保険金等の解約等により47百万円等の収入要因があったものの、有形固定資産の取得により156百万円等の支出要因があったことによるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは327百万円の純支出（前年同四半期は94百万円の純支出）となりました。これは主に、長短借入金の借入により945百万円等の収入要因があったものの、長短借入金の返済により903百万円、社債の償還300百万円等の支出要因があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期通期の業績予想につきましては、第3四半期業績を勘案し、予想数値を修正いたしました。本日(平成25年2月8日)公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間よりヤマダ上海ポンプ貿易有限公司は重要性が増したため、連結の範囲に含めております。また、同社の決算日は12月31日ですが、連結決算日現在で実施した仮決算に基づく財務諸表を使用しております。

なお、当社の連結子会社である株式会社ワイ・テイ・エス及び株式会社ワイ・テイ・エス販売は、平成24年6月28日開催の当社第87期定時株主総会決議において、当社取締役2名の任期満了による退任に伴い、当該2社に対する緊密な者又は同意している者の所有及び実質的支配が消滅したため、平成24年8月10日開催の取締役会における決議に基づき、第2四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

この変更による損益への影響は軽微であります。

なお、セグメント情報に与える影響は軽微であるため、記載を省略しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,134,985	2,051,190
受取手形及び売掛金	1,664,020	1,350,751
有価証券	50,735	50,764
商品及び製品	903,752	1,148,310
仕掛品	325,368	356,215
原材料及び貯蔵品	577,393	394,914
繰延税金資産	28,589	32,452
その他	75,358	75,660
貸倒引当金	△18,575	△9,461
流動資産合計	5,741,628	5,450,798
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,299,795	1,111,509
土地	1,570,884	1,236,018
その他（純額）	436,517	220,839
有形固定資産合計	3,307,197	2,568,367
無形固定資産	89,653	72,473
投資その他の資産	637,605	362,481
固定資産合計	4,034,457	3,003,322
資産合計	9,776,085	8,454,121
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,111,976	1,392,706
短期借入金	279,110	67,000
1年内償還予定の社債	500,000	200,000
1年内返済予定の長期借入金	377,876	134,150
未払法人税等	7,953	3,635
賞与引当金	131,997	26,526
その他	266,877	223,714
流動負債合計	2,675,791	2,047,733
固定負債		
社債	300,000	300,000
長期借入金	571,206	587,632
繰延税金負債	239,138	239,636
退職給付引当金	563,783	507,018
資産除去債務	20,349	20,349
長期未払金	187,500	43,200
その他	112,315	92,235

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
固定負債合計	1,994,293	1,790,072
負債合計	4,670,085	3,837,806
純資産の部		
株主資本		
資本金	600,000	600,000
資本剰余金	56,750	56,750
利益剰余金	3,566,627	3,873,634
自己株式	△8,100	△8,372
株主資本合計	4,215,277	4,522,012
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	26,480	28,507
為替換算調整勘定	△213,251	△166,019
その他の包括利益累計額合計	△186,771	△137,511
少数株主持分	1,077,494	231,814
純資産合計	5,106,000	4,616,314
負債純資産合計	9,776,085	8,454,121

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
売上高	6,047,564	5,959,893
売上原価	3,718,426	3,625,312
売上総利益	2,329,138	2,334,580
販売費及び一般管理費	1,821,379	1,756,546
営業利益	507,758	578,034
営業外収益		
受取利息	1,360	2,818
受取配当金	8,471	8,991
負ののれん償却額	3,668	3,668
不動産賃貸料	7,326	5,600
その他	11,793	13,756
営業外収益合計	32,620	34,835
営業外費用		
支払利息	28,730	19,136
売上割引	11,052	10,001
為替差損	26,455	70,010
その他	2,603	1,578
営業外費用合計	68,842	100,726
経常利益	471,536	512,142
特別利益		
固定資産売却益	386	1,659
投資有価証券売却益	—	18,810
国庫補助金	1,201	1,296
補助金収入	4,976	4,765
特別利益合計	6,564	26,531
特別損失		
固定資産処分損	1,344	19,557
減損損失	56,634	—
役員退職慰労金	—	85,000
その他	—	4,835
特別損失合計	57,978	109,393
税金等調整前四半期純利益	420,123	429,280
法人税、住民税及び事業税	93,824	107,345
法人税等調整額	△32,269	9,967
法人税等合計	61,554	117,313
少数株主損益調整前四半期純利益	358,568	311,967
少数株主利益又は少数株主損失(△)	63,586	△66,567
四半期純利益	294,982	378,535

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	358,568	311,967
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△19,976	2,026
為替換算調整勘定	△83,219	47,232
その他の包括利益合計	△103,195	49,259
四半期包括利益	255,372	361,226
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	191,786	427,794
少数株主に係る四半期包括利益	63,586	△66,567

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	420,123	429,280
減価償却費	200,156	205,739
負ののれん償却額	△3,668	△3,668
減損損失	56,634	—
受取利息及び受取配当金	△9,831	△11,810
支払利息	28,730	19,136
売上債権の増減額 (△は増加)	223,361	347,505
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△130,562	△185,330
仕入債務の増減額 (△は減少)	11,594	△29,468
割引手形の増減額 (△は減少)	△23,308	7,000
役員退職慰労金	—	85,000
その他	△53,797	△196,741
小計	719,432	666,643
利息及び配当金の受取額	9,831	11,810
利息の支払額	△26,666	△20,002
役員退職慰労金の支払額	—	△55,000
法人税等の支払額	△154,910	△120,705
法人税等の還付額	1,512	11,404
営業活動によるキャッシュ・フロー	549,199	494,149
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△94,569	△28,917
定期預金の払戻による収入	74,088	32,262
有形固定資産の取得による支出	△57,461	△156,294
有形固定資産の売却による収入	641	7,324
投資有価証券の取得による支出	△51,582	△1,637
投資有価証券の売却による収入	—	57,860
保険積立金の解約による収入	—	47,167
その他	4,231	227
投資活動によるキャッシュ・フロー	△124,650	△42,007
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,037,231	505,677
短期借入金の返済による支出	△978,971	△547,159
長期借入れによる収入	165,000	440,000
長期借入金の返済による支出	△240,920	△356,475
社債の償還による支出	—	△300,000
配当金の支払額	△59,765	△57,671
少数株主への配当金の支払額	△2,000	△2,000
その他	△15,347	△10,104
財務活動によるキャッシュ・フロー	△94,774	△327,733
現金及び現金同等物に係る換算差額	△47,701	6,709

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	282,073	131,118
現金及び現金同等物の期首残高	1,811,908	1,987,078
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	61,149
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	—	△99,098
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,093,981	2,080,248

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	日本	米国	オランダ	
売上高				
外部顧客への売上高	4,195,283	1,226,224	626,057	6,047,564
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,047,244	49,803	11,526	1,108,573
計	5,242,527	1,276,027	637,583	7,156,138
セグメント利益	459,094	113,327	77,663	650,085

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	650,085
セグメント間取引消去	△37,380
全社費用（注）	△94,254
棚卸資産の調整額	△10,691
四半期連結損益計算書の営業利益	507,758

（注） 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない役員報酬、役員退職慰労引当金繰入額及び研究開発費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「日本」セグメントにおいて、当社は以下の資産グループについて減損損失を計上しております。

	場所	種類	金額
遊休資産	東京都大田区	建物	56,626千円
		その他	7

当社は、事業に供している全ての資産が一体となってキャッシュ・フローを生成していることから、1つの資産グループとしてグルーピングを実施しており、遊休資産については、個々の資産ごとに減損損失の認識の判定及び測定を決定しております。

遊休資産については、将来の具体的な利用計画がないことから、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少価額を減損損失として特別損失に計上しております。

建物の減損損失の測定における回収可能価額は使用価値によっておりますが、将来キャッシュ・フローが見込まれないことから、当該事業資産の帳簿価額の全額を減損損失として計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては56,634千円であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計
	日本	米国	オランダ	中国	
売上高					
外部顧客への売上高	3,760,015	1,486,613	524,121	189,142	5,959,893
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,154,388	35,246	7,019	—	1,196,655
計	4,914,404	1,521,860	531,141	189,142	7,156,548
セグメント利益又は損失(△)	277,568	294,426	75,637	△2,028	645,605

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	645,605
セグメント間取引消去	△1,386
全社費用(注)	△63,296
棚卸資産の調整額	△2,888
四半期連結損益計算書の営業利益	578,034

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない役員報酬及び研究開発費であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間において、ヤマダ上海ポンプ貿易有限公司を、新たに連結の範囲に含めております。これにより、報告セグメントは、「中国」を加え4セグメントに変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間におけるヤマダ上海ポンプ貿易有限公司の売上高は185,146千円、セグメント利益は6,241千円であります。

4. 報告セグメントごとの資産に関する情報

第2四半期連結会計期間より、株式会社ワイ・テイ・エス及び株式会社ワイ・テイ・エス販売を連結の範囲から除外しております。これにより、前連結会計年度の末日に比べ、当第3四半期連結会計期間の報告セグメントの資産の金額は、「日本」において1,299,364千円減少しております。